

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年12月28日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
検証テーマ：オープニング、新潟県に木造船漂着、IR 事業をめぐる疑惑、イギリスの EU 離脱 【特集】秋元議員逮捕～IR 汚職の波紋		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・年末帰省ラッシュがピーク ・オープニング ・新潟県に木造船漂着 ・IR 事業をめぐる疑惑 ・イギリスの EU 離脱 ・松本城で天守のすす払い ・広島県福山市飲酒運転撲滅でお神酒の瓶詰め ・鹿児島市の平川動物公園で干支交代式 ・ハワイで観光ヘリが墜落 ・テキサス州で濃霧の中トレーラーが突っ込む ・メトロ銀座線で一部区間運休 ・青梅市の殺人事件で容疑者が着替えて逃走した疑い ・千葉県市原市の資材置き場で火災 ・【特集】秋元議員逮捕～IR 汚職の波紋 ・【特集】激動の香港と若者たちの未来 ・スポーツ報道 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング：結論→特に問題なし 番組のオープニングで金平キャスターが「今年最後の報道特集は日下部キャスターが今年15回、現地に渡って取材し、こだわり続けてきた自由を求める激動の香港、そしてこの数年間の国内政治の空虚さとおぞましさをどこか象徴しているダーティな国会議員の逮捕劇です。特集でお伝えします。」とコメントしていた。このコメントに当てられたシーンは19秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・新潟県に木造船漂着：結論→特に問題なし "膳場キャスターの「ではニュースです、新潟県佐渡市の海岸で木造船の一部が漂着しているのが見つかり、中から7人の遺体が発見されました。」とのコメントに日下部キャスターが「船体にはハングルと見られる文字が書かれていて、佐渡海上保安署が詳しく調べています。」と応えた後に、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 "ナレ「佐渡海上保安署によりますと、新潟県佐渡市の海岸で昨日午後四時前、パトロール中の警察官が木造船の船首を発見しました、今日、天候の回復を待って船首を調べると中から7人の遺体が見つかりました。」 近所の人A「大変な嵐の時にようあんな船で海に出るものだと思ってかわいそうだと思うけど、」 		

ナレ「遺体は腐敗が進んでいて、2人は頭部のみで性別や年齢などは今のところ分っていません。船は長さ7.6メートル高さ2.3メートルでハンゲルと見られる文字があり朝鮮半島から来たと見られています、佐渡海上保安署が詳しく調べています。」

このトピックに当てられた時間は68秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・IR事業をめぐる疑惑：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「IR統合型リゾート事業をめぐる汚職事件で逮捕された秋元司衆院議員が贈賄側の中国企業本社を訪れた際、企業側が用意したプライベートジェットで移動していたことが関係者への取材でわかりました。」とコメントを受けてナレーションによって「衆院議員の秋元司議員は現金300万円の賄賂を受け取ったとされる3ヶ月後の一昨年12月、中国深センにある中国企業ファイブハンドレッドドットコムの本社を訪れています、その後関係者への取材で秋元容疑者らがファイブハンドレッドが用意したプライベートジェットに乗って羽田空港から移動するなど、この視察の移動手段は全てファイブハンドレッド社が用意していたことがわかりました。この視察には贈賄側として逮捕されたファイブハンドレッド社の元顧問も同行していたということで東京地検特捜部はIR事業参入をめぐる癒着の実態解明を進めています。弁護人によりますと秋元容疑者は容疑を全面的に否認しているということです。」と伝えられていた。

このトピックに当てられた時間は70秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリスのEU離脱：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「さて、先週からお伝えしているJNN海外支局からのレポート。今日はロンドンからです」というコメントに対し日下部キャスターが「今年はEU離脱一色だったイギリス、予定通り来月末に離脱すれば一件落着とはいかないようです。」と応えた後に、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"あきばせいじ（報告）「今年の前半は永遠に続くような気にさせられたEU離脱の議論ですけれども、保守党が総選挙で圧勝したことで来月末の離脱が、今度、確実となりました。ただ、そこを超えても新たな課題が待っていることは各地で取材をしても明らかでした。」

ナレ「離脱後にはEUとの新しい関係を作る複雑な交渉が始まります、例えば漁業分野。」

"ジム・スティーブン（漁業）「我々の海域の40%しか取れません。」

ナレ「先月スコットランドで話を聞いたこの漁師はEUの漁業既成からの解放を心待ちにしておりましたがEUとの交渉の中で漁獲枠や漁場へのアクセスが他の分野の何かと引き換えに差し出されるのではないかと不安を抱えていました。」

ジム・スティーブン「漁業が妥協のカードにされることを恐れています、政治家はそれはしないと口では言うけど、政治家の言うことだからね。」

"ナレ「EUも漁業については頑固な要求をしてくるでしょう、ジョンソン首相は交渉を来年末までにまとめると期限を切ってしまう分、譲歩の懸念も消えません。」

あきばせいじ「離脱に寄せる人々の期待に答えられるのかも課題です。経済が低迷するイングランド北部で国民投票では離脱にいたる男性との会話が印象に残っています。」

福祉関係者「どこもかしこも削られて、予算、公的手当、軒並み削られて人々は苦しんでいてみんなそれぞれ生きるのに必死です。私たちは思い学習障害がある人達をサポートしていますが、予算がかなり削られています。」

記者「EU離脱が状況を好転させるのではないかと考えた？」

福祉関係者「それが希望でした、それが考えでした、状況が改善するのではないかと。」

ナレ「保守党政権の緊縮財政で疲弊したイングランド北部や中部の人たちは三年前、なにかが変わることを期待して離脱に投票しました。本来は労働党が強いエリアに暮らすその人達の一定数が今回再び離脱にかけ、自分たちを痛めつけたはずの保守党を支持して圧勝させました。ジョンソン首相はそうした人たちに約束しました。」

ジョンソン首相「皆さんの信頼に報いるよう、寸暇を惜しんで働きます。」

ナレ「でも、沈んだ地方経済はかんたんには起き上がりません。今月、中部で貧困支援に当たるフードバンクの運営者はこう予言しました。」

キース・ターナーさん（フードバンクを運営）「EUを離脱しても諸々の問題は残りますよ。新しい政府には困難な仕事があります。」

ナレ「離脱しても、人々の生活が変わらず苦しければ期待が失望となってジョンソン政権に跳ね返ってきます。」

あきばせいじ「外交も内政も 2020 年が勝負の始まりと言えそうです。」

このトピックに当てられた時間は 209 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】秋元議員逮捕～IR 汚職の波紋：結論→問題あり

膳場キャスターの「特集です。今週水曜日、東京地検特捜部はカジノを含む IR 誘致をめぐる収賄の疑いで秋元司衆院議員を逮捕しました。」とのコメントに金平キャスターが「逮捕直前に秋元容疑者はなにを語っていたのか。カジノ誘致の裏で何が起きていたのか。北と南の現場を取材しました。」と応えた後に CM をはさみつつ以下に朱記したような VTR が特集で取り上げられていた。

記者「容疑者とみられる車が東京拘置所に入ります。」

ナレ「今週水曜日、東京地検特捜部は、およそ 10 年ぶりに、現職国会議員の逮捕に踏み切った。」

ナレ「その人物は・・・」

記者「数々の、今までちょっと出てますけど、疑惑についてどう？」

秋元司国会議員「疑惑ないっすよ。一切」

ナレ「自民党に所属していた秋元司衆議院議員。逮捕容疑は収賄だ。」

ナレ「去年 10 月まで、内閣府と国交省の副大臣として、カジノを含む IR、統合型リゾートを担当していた。」

ナレ「日本で IR 事業を計画していた中国企業側から、およそ 370 万円のわいろを受け取った疑いがもたれている。」

ナレ「IR の誘致をめぐり、不正はあったのか。」

金平「カジノを含んだ IR 事業への参入を検討していた中国企業の関係者が・・・」

ナレ「逮捕前日、我々の電話取材に対し、秋元容疑者は、」

秋元容疑者（音声）「俺は金をもらってないんだからさ。なんでこれが事件になるんだよ。」

(CM)

ナレ「東京地検特捜部に逮捕された衆議院議員の秋元司容疑者」

秋元容疑者「これより、採決に入ります。」

ナレ「2016 年には、衆議院内閣委員会の委員長を務め、野党が反対する中、カジノを解禁する IR 整備推進法案の採決を強行した。」

ナレ「去年 8 月には、内閣府や国土交通省の副大臣に就任、去年 10 月まで IR を担当していた。」

ナレ「その秋元容疑者におわいろをおくったとされるのが、中国企業、500 ドットコム顧問を務めていた紺野昌彦容疑者ら 3 人だ。」

ナレ「中国・深圳に本社がある 500 ドットコムは、スポーツくじなどを手掛けていて、日本での IR 参入を目

指していた。」

延広耕次郎記者「こちらは500ドットコムの子会社の中国の本社です。中には豪華なオブジェが見えますね」

ナレ「秋元容疑者はおとし、この本社を訪問。その際、自民党の白須賀貴樹衆議院議員と、勝沼栄明前衆議院議員を同行していた。特捜部は、今週水曜日、この2人の地元事務所を関係先として家宅捜索した。」

ナレ「さらに、おとし」

記者「東京地検特捜部の車がパチンコメーカーに入ります。」

ナレ「特捜部は、都内の大手パチンコメーカーも捜索した。秋元容疑者は、パチンコ業界と関係が深く、特捜部は、資金の流れの全容解明を進めている。」

ナレ「中国企業側から秋元容疑者へ金は、どのように受け渡されたのか？関係者によると、紺野容疑者らは、こう供述しているという。」

紺野容疑者（吹替）「現金300万円を羊かん入りの紙袋に入れて、議員会館で秋元容疑者に渡した。」

ナレ「現金の受け渡しがあったとされるのは、2017年9月下旬。衆議院が解散した時期だ。」

ナレ「紺野容疑者らは、こういつて渡したという。」

紺野容疑者（吹替）「これ陣中見舞いです。」

ナレ「議員会館以外にも一つ、贈収賄の現場となったのが、」

金平「えー北海道の留寿都村に来ています。雪が降ったり、やんだりなんですけども、とても寒いんです。えーまわり見まわしますとですね、大型リゾート地として、今モノレールがこちらの方に向かってきてますけれども、大きなホテルあるいはスキー施設が非常に充実しています。」

ナレ「札幌から車で1時間半、スキーリゾート地として有名な留寿都村は、この時期、外国人観光客の姿が目立つ。」

"金平（翻訳）「どこから来たんですか？」

男性（字幕）「オーストラリア」

金平（字幕）「留寿都の雪の質はいかがですか？」

男性（字幕）「すばらしい」"

ナレ「留寿都村は、人口減少による税収減などから、経済効果に期待して、5年前にIRの誘致を表明していた。紺野容疑者ら、中国企業側は、去年1月、IR事業計画のために、留寿都村を訪れていたという。」

ナレ「紺野容疑者の印象について、村議会のまつい・ゆきお議長は、」

留寿都村議会 松井幸雄議長「悪い男だとは思わなかった。今の若者には、比較的珍しい、やっぱり『3歩下がって師の影を踏まず』ってのを持ってるのよ。出すぎないというか。」

ナレ「留寿都村のばや・つねはち村長は、」

"記者「秋元氏も、留寿都村に来てたんですか？」

留寿都村 場谷常八村長「きてましたね。一回記憶あります。」"

"場谷村長「プライベートで、スキーに来たというときに、」

場谷村長「顔を出してくれないかということで、行った記憶があります。」"

ナレ「去年2月には、当時IR担当の副大臣だった秋元容疑者が、中国企業側から招待され、留寿都村を訪れていた。」

ナレ「この時、秋元容疑者と家族の家族の航空運賃、宿泊費など、およそ70万円が、中国企業側から、支払われていたとされ、特捜部はこれが賄賂にあたると判断した。」

ナレ「当時、与党内では、日本国内でのIR整備地域の上限を、2、3か所とするか、4、5か所とするかで、

協議が行われていた。」

ナレ「関係者によると、去年3月ごろ、紺野容疑者らは、秋元容疑者らに対して、IR 整備地域を、5か所にするよう、要望していたという。」

ナレ「その翌月、松井議長は、逮捕された中里容疑者とともに、国土交通省の副大臣室を訪れたという。」

"松井議長「普通、副大臣室なんて、こんな小さな村の議長なんか入れませんよね。」

松井議長「落ち着きませんよね、はっきり言って、天下人ですよ。副大臣なんかになったら、もう国会を見下ろし、皇居を見下ろし、東京の一等地です。」"

ナレ「その後、北海道は留寿都村でなく、苫小牧市を IR 誘致の優先候補地としたが、先月、誘致を断念した。」

留寿都村 場谷村長「留寿都村の取り組みに対して、このようなダーティーな事件が起きたことは、大変ショックで衝撃を受けておりますし、大変怒りを覚えます。」

ナレ「村の人に聞いてみると・・・」

"村民女性「恥ずかしいねって言っているから。関心ないんじゃない。やっぱり村の人はあんまり。私たちにはそのカジノなんて、関係ないことだから、私たちがいける場所で、場じゃないから。」"

秋元容疑者（音声）「俺が不可解なのはさ、俺に IR の担当副大臣で、法律も出来ていないのに、便宜なんて働きようがないわけだ。」

ナレ「これは、秋元容疑者が、逮捕前、JNN の電話取材に応じていた音声だ。逮捕前日まで続いた取材。秋元容疑者は、贈賄側である中国企業からの金銭の授受を一貫して否定した。」

"秋元議員（音声）「便宜なんて働きようがねえ、そんなんみんな知っている。俺に金なんか持ってくるわけがねえじゃねえか。中国企業が。なんで俺にそこに金なんて持ってくるの？もっとも俺は一銭ももらってないけどさ。」

記者「一銭ももらってないですよ？500ドットコムって会社があるじゃないですか。」

秋元議員（音声）「そんなん、もらうわけねえよ。俺に持ってきてもいいねえ。」

秋元議員（音声）「IR は知ってるじゃん。俺に挨拶したって、俺が決めるわけじゃないんだから、北海道で決めてくる話なんだからさ。立てつけがさ。」

秋元議員（音声）「俺によろしくっていえばさあ。来ればさあ、『我々も狙っているんで、その時はぜひ、応援してくださいとか』って、来たらさ、普通に『頑張ってください』ってだけの話。表敬だもん。単なる。」"

ナレ「一方で、迫る検察の捜査に、逮捕を覚悟する言葉も。」

秋元議員（音声）「少なくとも、議員会館に入ったってことは、逮捕彼らもしないといけなかったり、議員会館くらいになると、秋元逮捕しますと、宣言したみたいなものだからさ。特捜部。」

ナレ「そして逮捕される前の夜。」

"記者「大丈夫ですか？」

秋元議員（音声）「ああーどうした？移動してたから疲れちゃった息切れして、」

記者「もう家に帰ってきたんですか？」

秋元議員（音声）「まだだよ。まだもう今日、忘年会で会わないといけなから。今日は帰んないよ。今日はもう、めんどくせえから。」

記者「だって明日明後日、とかって、地検から呼ばれてないですか？」"

秋元議員（音声）「ないよ。特に、今のところ。」

ナレ「不正への関与は本当にないのか。再び記者に問われた秋元容疑者は、こう語った。」

"秋元議員「何が本質か、事件なのかって全然誰も捉えてねえじゃん。」

記者「本当わかんないっすよ」

秋元議員（音声）「俺が知ってるよ。本当に。何なんだよ。何が本質の事件なのか一体。」

記者「報道先行で。」

秋元議員（音声）「金はもらってないのは、事実だしよお。なおかつ便宜供与働いてないのは事実なんだよ。これは。便宜供与働くわけもねえし、500ドットコムに対し、役人も紹介してねえし。彼ら表敬に来たから『ああ、どうも』っていっただけの話だよ。本当に。それ以上でも以下でもねえんだよ。ただ想像するのが、仲里とか、そのなんだ紺野とかいうのが、あいつらが、その、金を引っ張り上げたいがために、こうやって500ドットコムみたいな素人の会社をうまくだまくらかして、たぶん金を引っ張ったんだろ。日本でうまくやりますよって言って、それだけの話だと思うよ。俺は。」

ナレ「秋元容疑者は、北海道、留寿都村を訪れるよりも前に、500ドットコムと接触していた。その場所が沖縄だ。」

金平「えー今回、逮捕された秋元議員と、紺野容疑者、そして中国企業の関係者が一堂に集った、IRに関するシンポジウムが行われたのは、この那覇市内のホテルです。紺野容疑者らのIR事業参入に関する活動の舞台となっていたのが、ここ、沖縄でした。」

ナレ「おとし、500ドットコムの主催で開かれたIRのシンポジウム。秋元容疑者は、200人以上の参加者を前に、机上講演を行い、パネリストとしても参加していた。関係者によると、500ドットコム側は、秋元容疑者側に講演料として、200万円を支払っていた。シンポジウム後に、IR担当の内閣副大臣に就任することをしり、予定より増額したという。」

ナレ「両者を引き合わせたのは、シンポジウムを仕切っていた紺野容疑者だった。中国や、沖縄を拠点に、経営コンサルタントや、選挙プランナーとして活動していた紺野容疑者。SNSには、国会議員との2ショット写真などを繰り返し投稿し、政界とのつながりをアピールしていた。かつては、IR反対派の事務所にも、出入りしていた。」

"糸数慶子前参院議員「政策に関わる広報誌を作る仕事で入ってきています。」

「沖縄の地元の広報する方々と、つながってきているんですよ。直接あの人が入ったというよりも、全体の中の一員として入ってると思います。」

金平「どういうことですか？印象で」

糸数氏「私は、ちょっと要注意という感じで肌合いが合わないで、あまり積極的なかわりは持たなかったんですけど。」

糸数氏「(紺野容疑者は) もうなんでも積極的にやりますよってところでした」

ナレ「沖縄では、基地返還後の跡地利用として、IR誘致案がたびたび浮上してきた。」

ナレ「誘致には、消極的だった稲嶺恵一元沖縄県知事はこう話す。」

稲嶺元知事「カジノの話っていうのは、もうずっと実は、復帰前からあるわけですよ。これはいつの時代でも、いろんな方がいろんな物を持ってきて、動かれるというのが、これは時代の常じゃないかなと思ってます。」

ナレ「シンポジウムで進行役を務めていた自民党の山川典二県議。紺野容疑者について、こう語る。」

自民党沖縄県連 山川典二県議「スマートにね、いろいろとあの、物言いをされる方で、まあけっこうアジア各地、まああの日本各地ですね、動かれているという、非常にあの活動的な印象は持ちましたけど。」

山川氏「500ドットコムの皆さんからは富裕層の皆さんをですね、将来的に送り込みたいという話もあったことですから、まあじゃあその話は聞いてみようと、」

ナレ「県では、シンポジウムの後、紺野容疑者の働きかけでIR議連が発足。山川県議はその会長に就任している。」

山川県議「まあ同じ自民党の国会議員がですね、やっぱり、逮捕に、至ったと。私も自民党の議員としてね、沖縄で頑張っているわけでありますからね、それについてはまずは非常に残念に思っております。IR 事業そのものの、かなりブレーキがかかるのではないかというふうに思っておりますね、そういう意味でも少し残念だなあという思いはあります。」

ナレ「安倍政権肝いりの IR をめぐる汚職事件。与野党からは。」

自民党 二階俊博幹事長「党として、こういう事態が起こったということに対しては、大変残念でありますし、今後こうしたことに対して、厳重に対応していきたい」

立憲民主党 安住 淳国対委員「カジノを推進してきた安倍内閣の副大臣ですから、任命責任であり、自民党含めてですけどね、こうカジノを推進している政党に対して、徹底的に追及をしていきたいと」

ナレ「与野党は年明け 1 月 8 日に政府から説明を受けることにしている。」

特集の VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

膳場「北海道の留寿都と、あと沖縄はカジノをめぐるこの汚職疑惑の舞台になっているわけですけども、この 2 つの地域では、これどういうふうに受け止めているんでしょうか。」

金平「少なくともね、留寿都、沖縄の地元住民の大半はですね、あっそんなことあったのかっていう、寝耳に水の事件で、はっきり言って迷惑だって感じだったですね。で、政府は、カジノを含む IR 事業をですね、地方再生と経済成長の切り札にしたいという位置づけだったですけども、少なくとも留寿都とね、沖縄を取材した限りでは、住民、地元住民が潤うような、立てつけにはなっていないと思いましたがね。ですからあの、今回の事件を、きっかけにしてこの際、IR 事業の在り方みたいなものをもう一度考え直してみるっていうのは、必要だと思いますね。」

日下部「なんといっても、こう時代が逆戻りしたようなね、今でもこんなこと行われているんだというみたいな事案ですよ。」

金平「まったく、その通りですけど、東京地検特捜部といえね、かつては巨悪を裁くというか、捜査をして、政治や経済の腐敗を糾すという働きがあったんですけども、その地検特捜部が 10 年ぶりに国会議員逮捕ということで、政界捜査に手をつけたんですよ。ただですね、ご覧になっているように、登場人物がそのいかにも、小粒といえね。えー逆にいうとその程度の人たちが、権限を行使して IR 事業というような巨大なプロジェクトを動かそうとしていたということで、まああきれ果てるというかですね、とはいえ今の政権と検察の関係でいえば、もうよく着手したなあと、だから徹底捜査をしてほしいと思いますね。」

この特集に当てられた時間は 1204 秒だった。

スタジオで金平キャスターが「今の政権と検察の関係でいえば、もうよく着手したなあと、だから徹底捜査をしてほしいと思いますね。」と述べていたが、今の政権と検察の関係については今回の報道特集では取り上げられていなかった。

事実がどうであるかを全く明らかにせずに、政権と検察の間に特別な関係があるかのような印象を与えるような発言をスタジオで一方向的にするというのは、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に照らして問題があるといえる。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・【特集】秋元議員逮捕～IR 汚職の波紋：結論→問題あり

スタジオで金平キャスターが「今の政権と検察の関係でいえば、もうよく着手したなあと、だから徹底捜査を

TV 報道検証【報道特集】 報告書

してほしいと思いますね。」と述べていたが、今の政権と検察の関係については今回の報道特集では取り上げられていなかった。金平キャスターは桜を見る会などを念頭に置いての発言なのかもしれないが、実際の事実がどうなのかもわかっていないし、政権と検察の関係がどうなのかということも触れられていないのに、スタジオで一方的にこのようなコメントを行うことは、視聴者に対して政権と検察の間に特別な関係があるかのような印象を与える恐れがあるといえる。

検証者所感

特になし